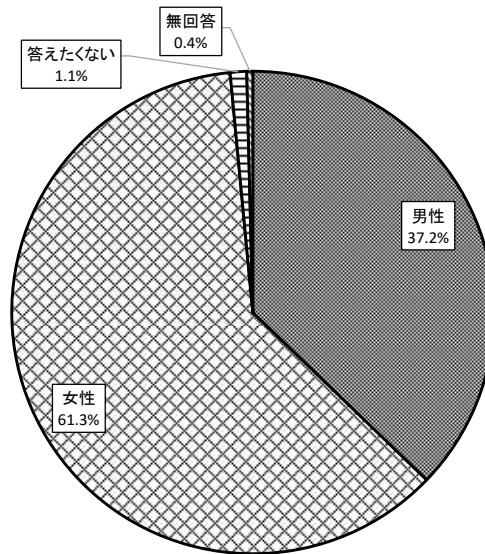


[18歳～39歳の男女]



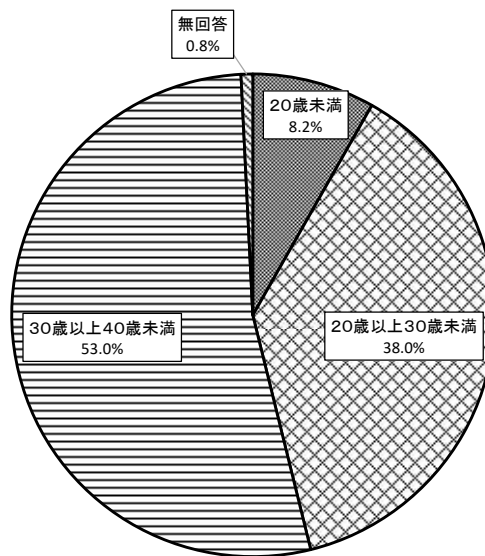
## 1. 回答者の属性

### (1) 性別(問1)



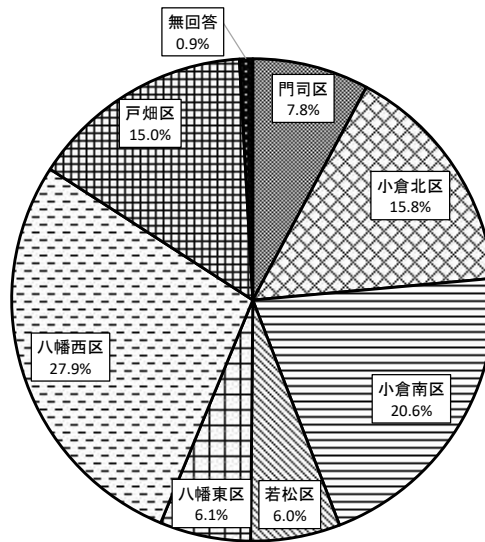
(N=914)

### (2) 年齢(問2)



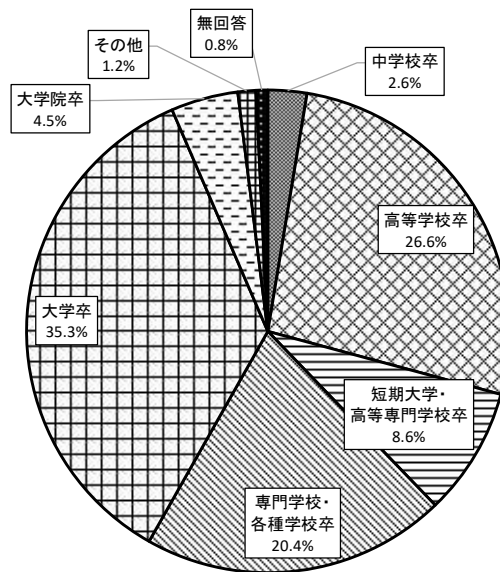
(N=914)

(3) 居住区(問3)



(N=914)

(4) 最終学歴(問4)

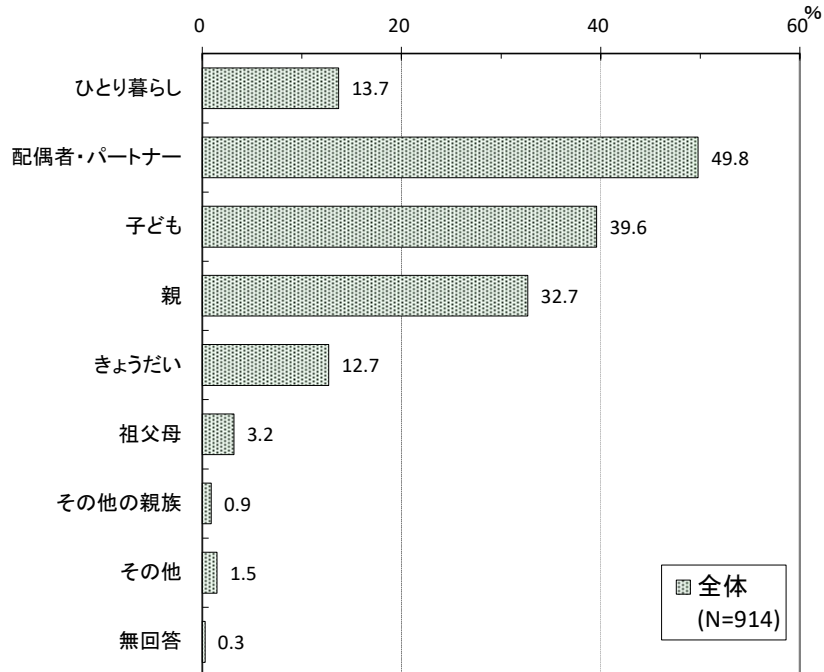


(N=914)

## 2. 回答者の生活状況

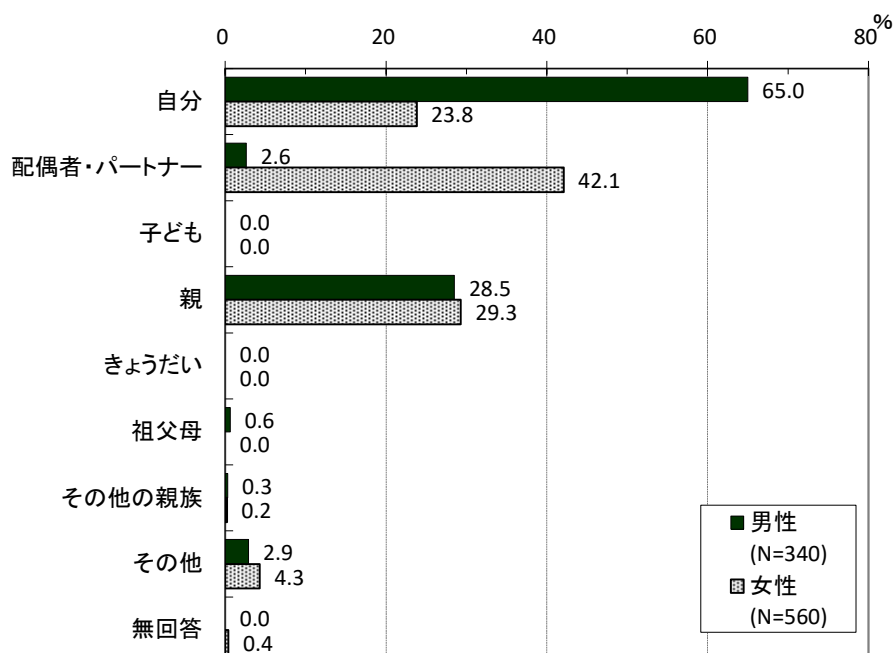
### (5) 同居の状況(問5)【複数回答】

同居の状況は、「配偶者・パートナー」が49.8%で最も高く、次いで「子ども」39.6%、「親」32.7%となっている。



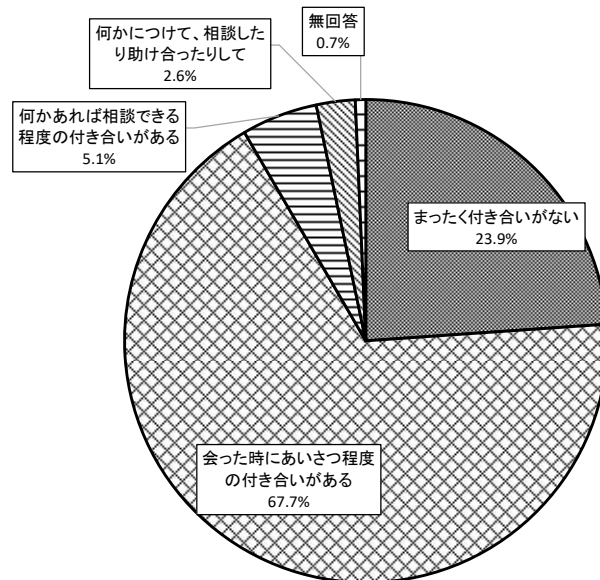
### (6) 生活費の担い手(問6)

生活費の担い手は、男性は「自分」が65.0%で最も高く、次いで「親」28.5%、「配偶者・パートナー」2.6%となっている。女性は「配偶者・パートナー」が42.1%で最も高く、次いで「親」29.3%、「自分」23.8%となっている。



(7) 近所づきあいの状況(問7)

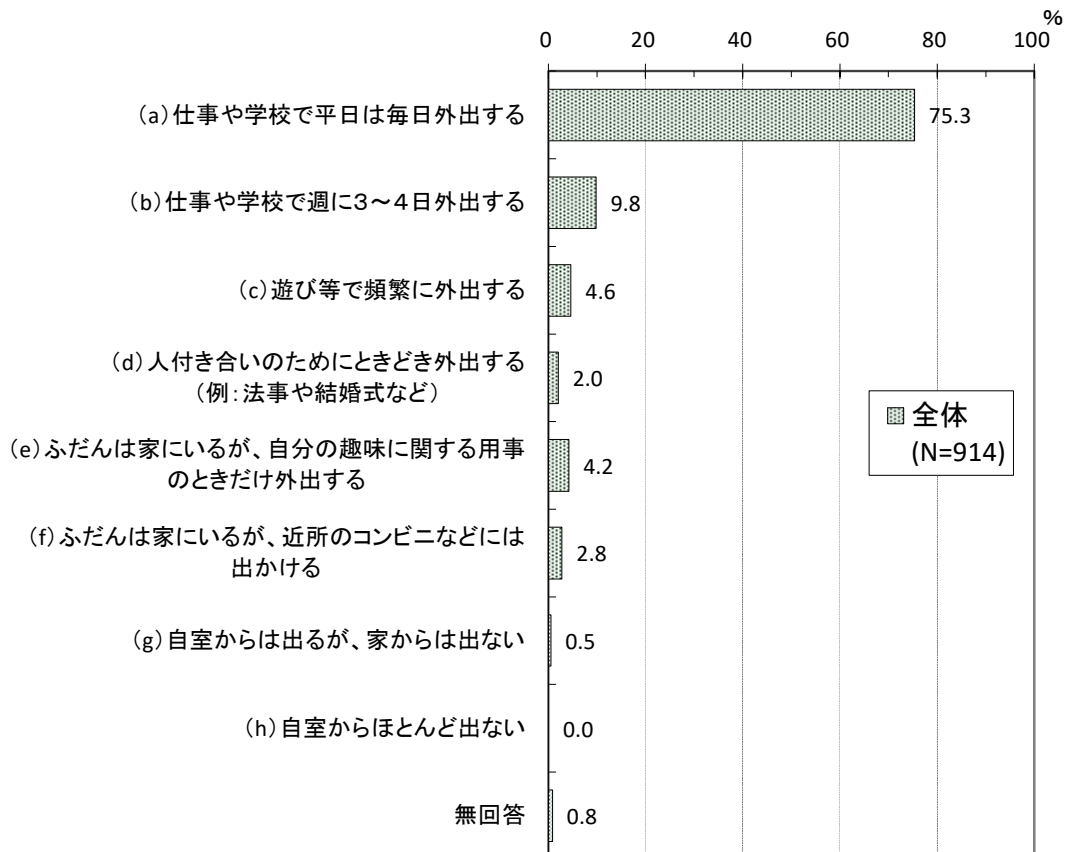
近所づきあいの状況は、「会った時にあいさつ程度の付き合いがある」が67.7%で最も高く、次いで「まったく付き合いがない」23.9%、「何かあれば相談できる程度の付き合いがある」5.1%となっている。



(N=914)

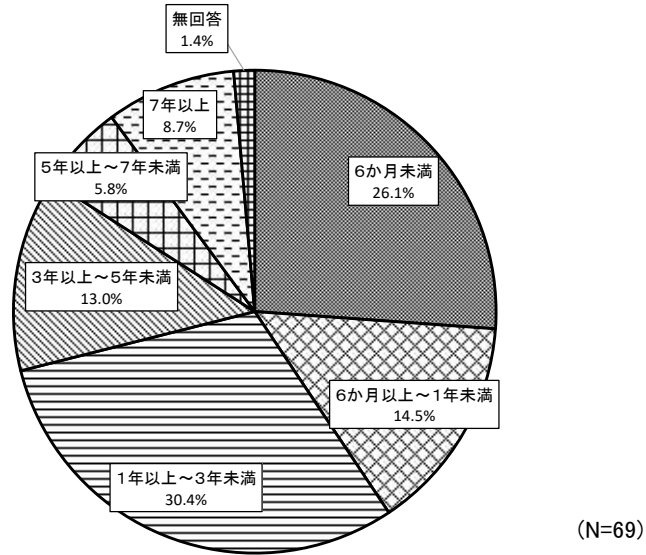
(8) 外出の頻度(問8)

外出の頻度は、「(a)仕事や学校で平日は毎日外出する」が75.3%で最も高く、次いで「(b)仕事や学校で週に3～4日外出する」9.8%、「(c)遊び等で頻繁に外出する」4.6%となっている。



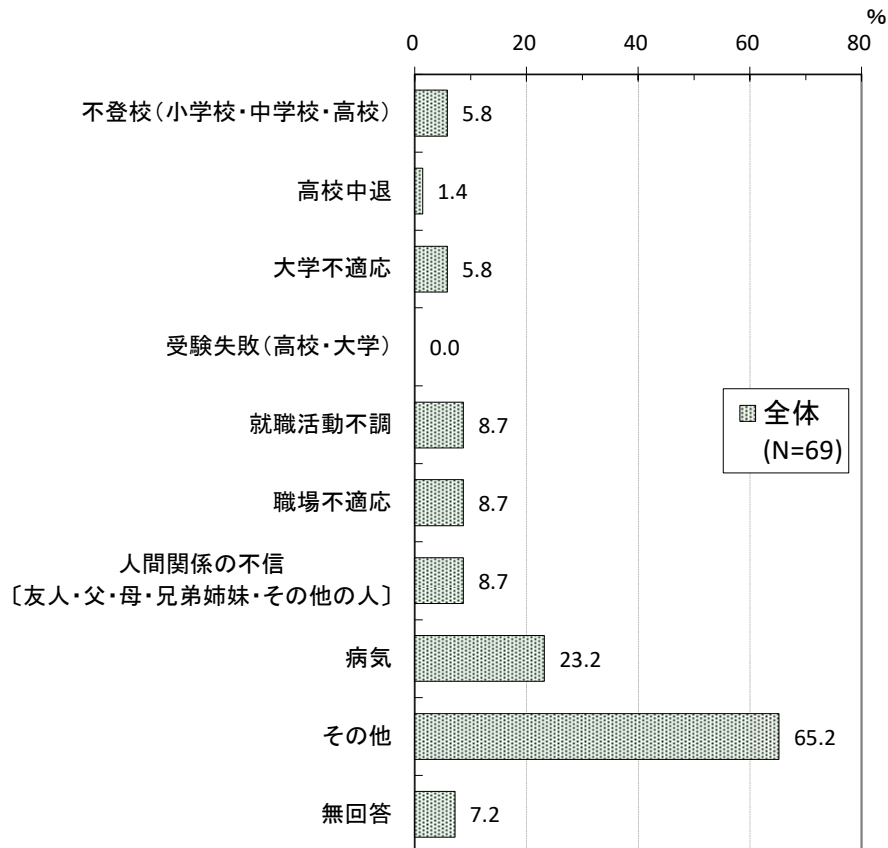
(9) 外出の頻度が減ってからの期間(問 8-1)

(8)で(e)～(h)と回答した人に、外出の頻度が減ってからの期間を訪ねたところ、「1年以上～3年未満」が30.4%で最も高く、次いで「6か月未満」26.1%、「6か月以上～1年未満」14.5%となっている。



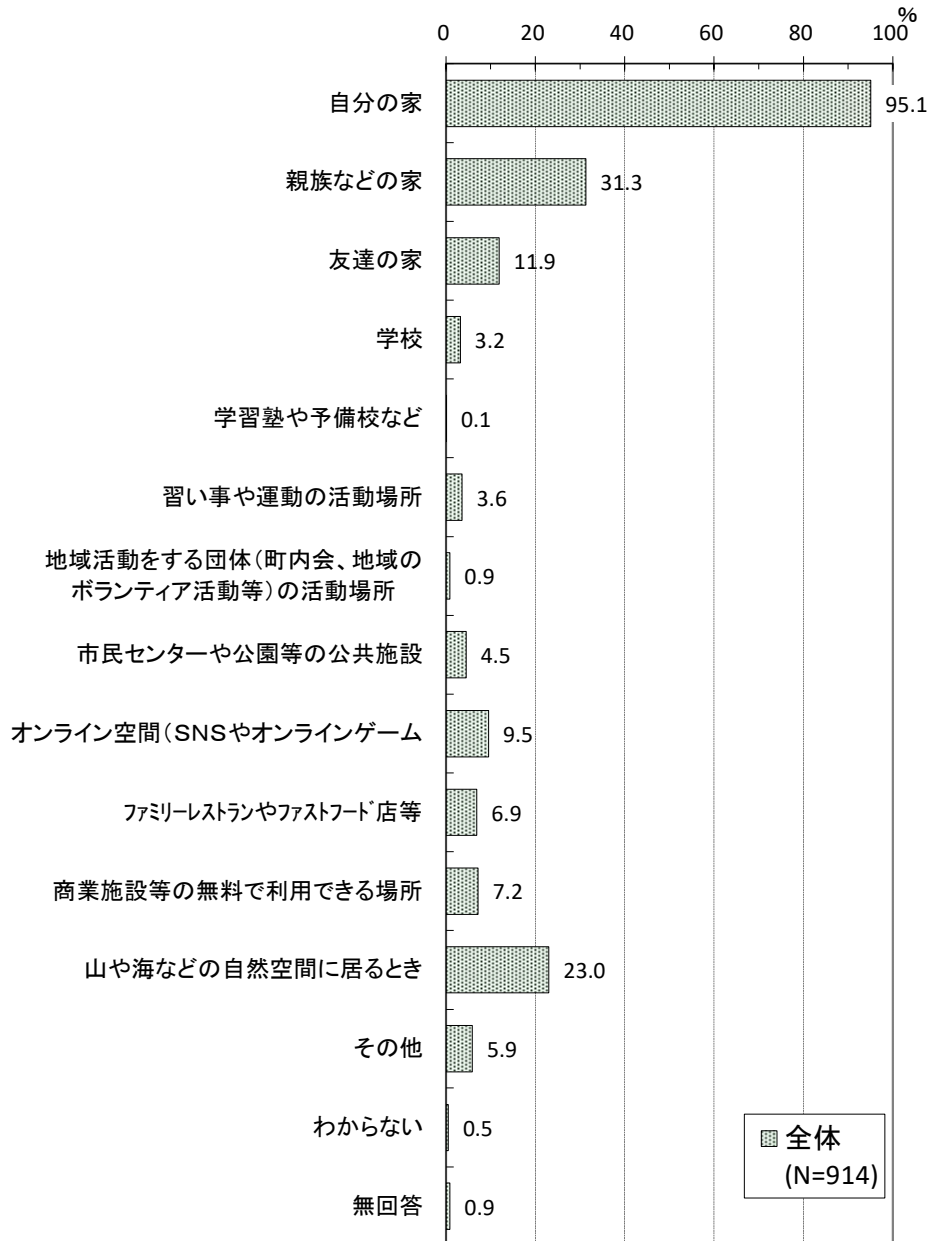
(10) あまり外出しなくなったきっかけ(問 8-2)【複数回答】

(8)で(e)～(h)と回答した人に、あまり外出しなくなったきっかけを尋ねたところ、「その他」が65.2%で最も高く、次いで「病気」23.2%となっている。



(11) 自分が居心地よく安心する居場所(問9)【複数回答】

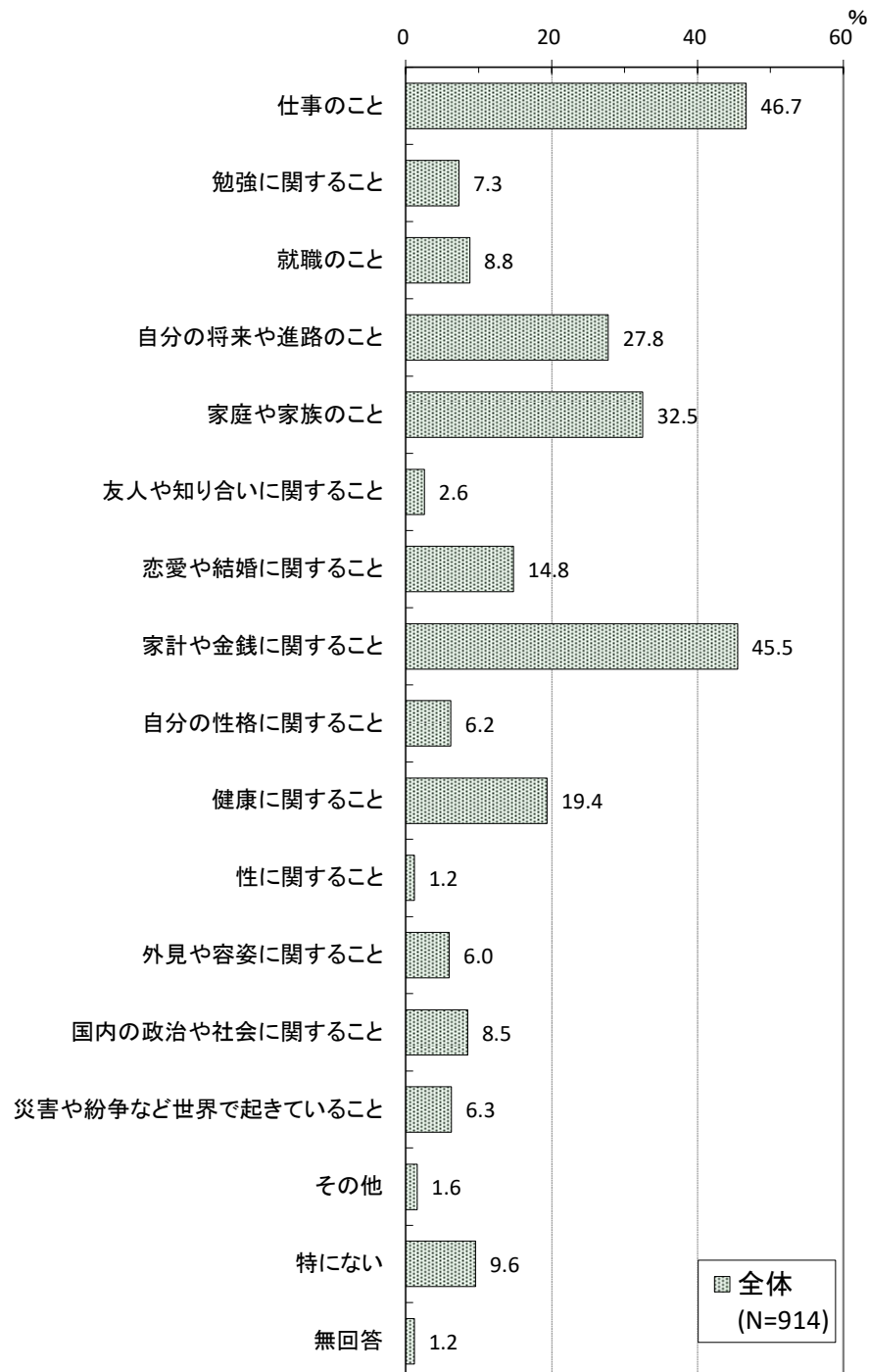
自分が居心地よく安心する居場所は、95.1%が「自分の家」をあげている。次いで「親族などの家」31.3%、「山や海などの自然空間に居るとき」23.0%となっている。





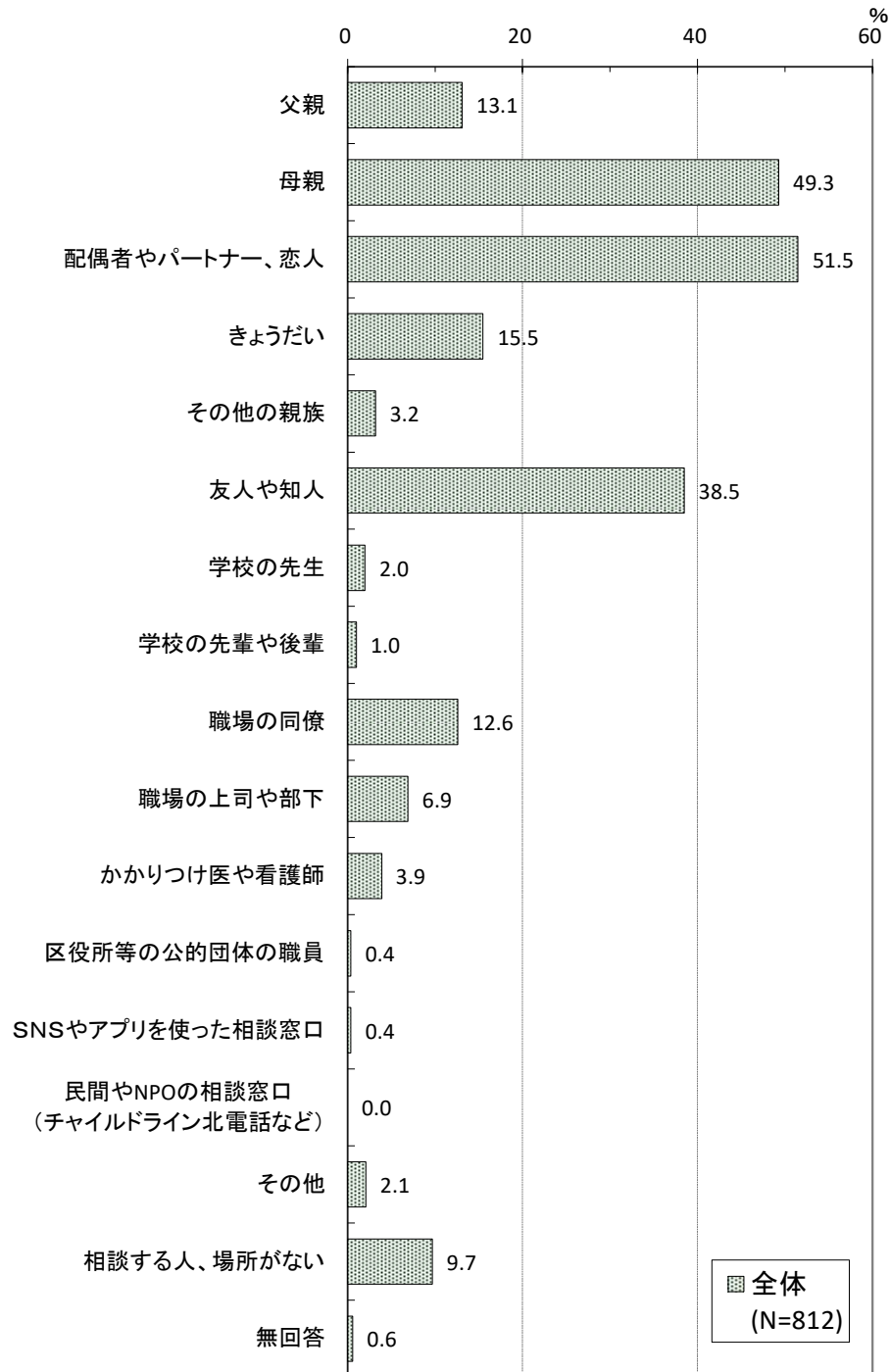
## (12) 日ごろの悩み(問10)【複数回答】

日ごろの悩みは、「仕事のこと」が46.7%で最も高く、次いで、「家計や金銭に関すること」45.5%、「家庭や家族のこと」32.5%、「自分の将来や進路のこと」27.8%などとなっている。



## (13) 悩みや不安の相談相手【(問 10-1)【複数回答】】

悩みや不安の相談相手は、「配偶者やパートナー、恋人」が 51.5%で最も高く、次いで「母親」49.3%、「友人や知人」38.5%となっている。

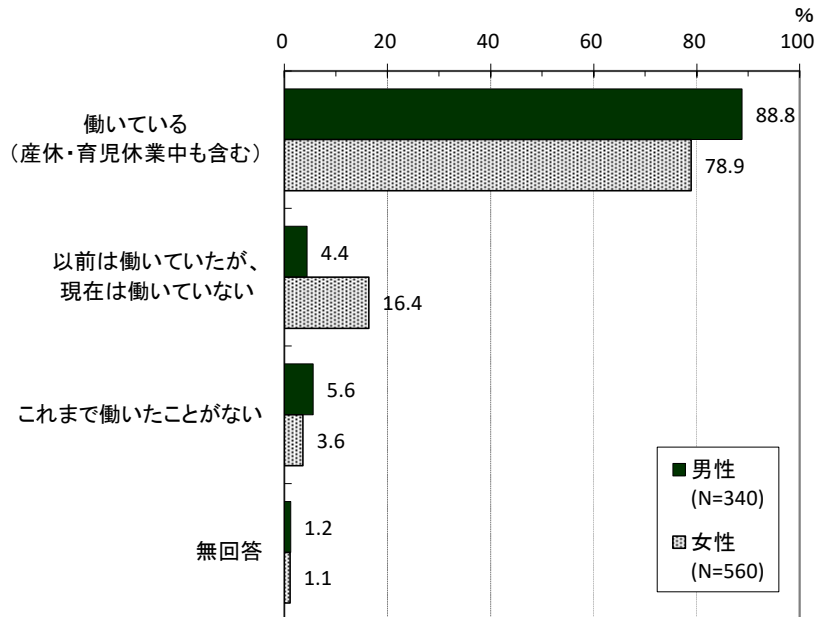


### 3. 就労状況について

#### (14) 現在の就労状況(問 11)

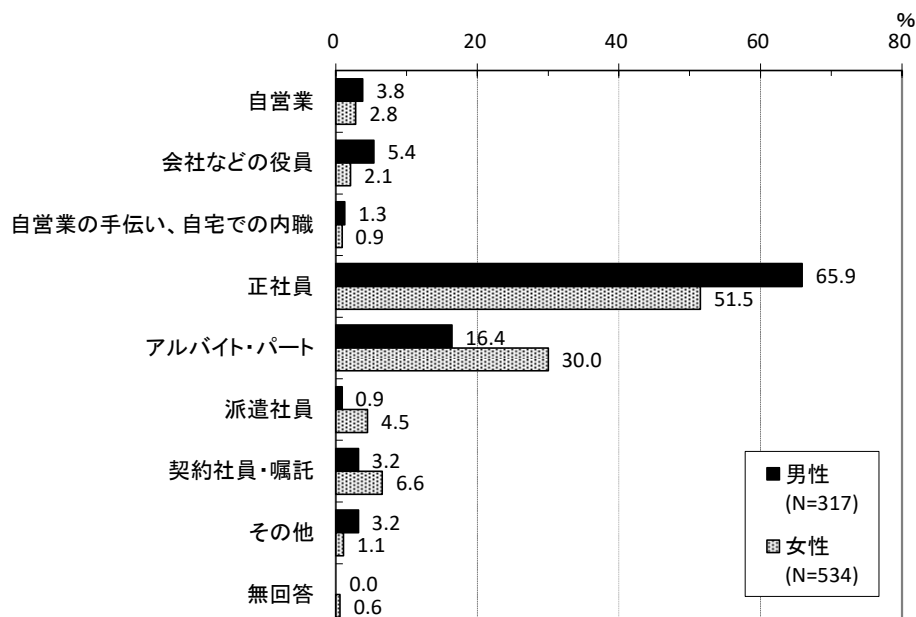
現在の就労状況は、男性は「働いている(産休・育児休業中も含む)」が88.8%で最も高く、「これまで働いたことがない」5.6%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」4.4%となっている。

女性は「働いている(産休・育児休業中も含む)」が78.9%で最も高く、「以前は働いていたが、現在は働いていない」16.4%、「これまで働いたことがない」3.6%となっている。



#### (15) 就労形態(問 10-1)

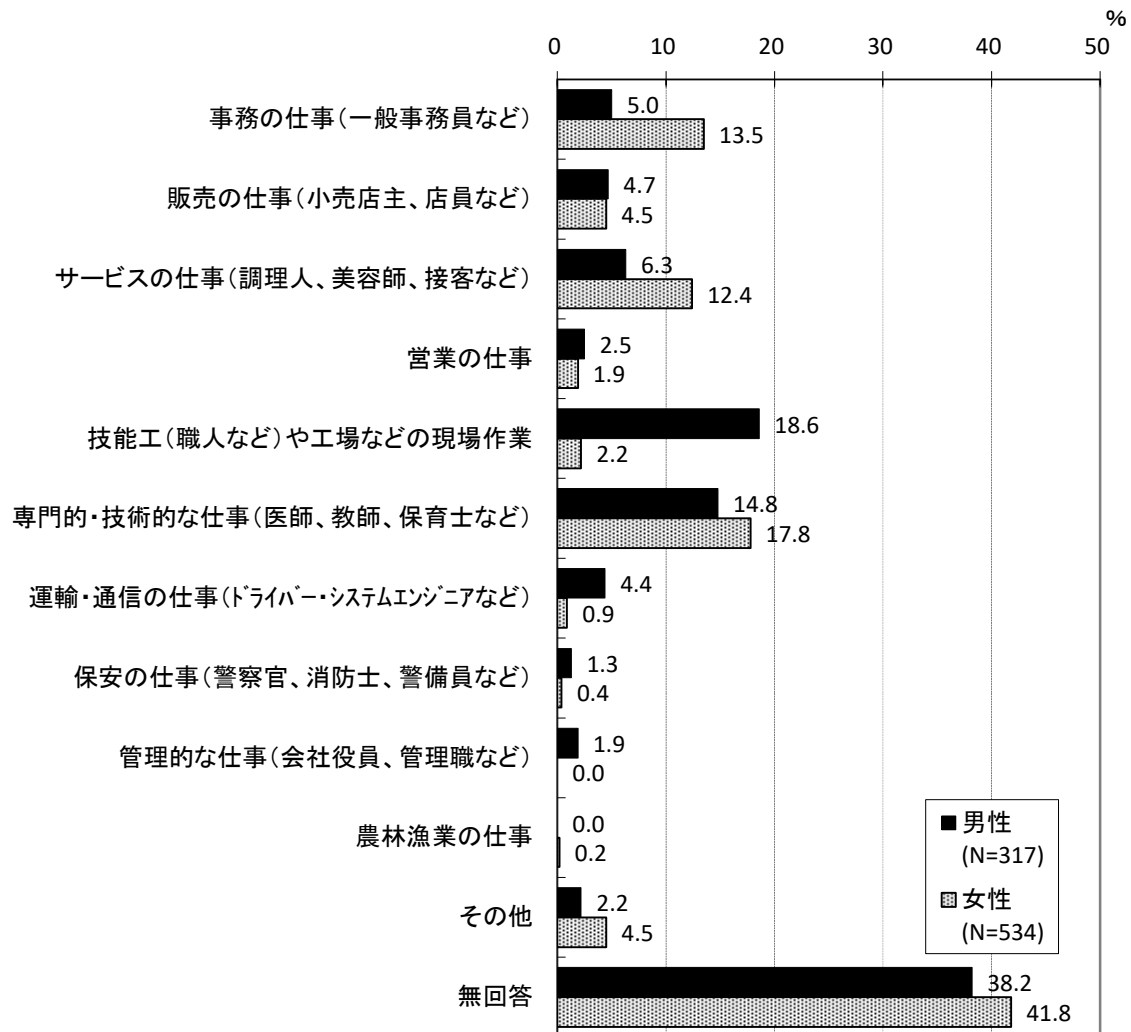
就労形態は、男性は「正社員」が65.9%で最も高く、次いで「アルバイト・パート」16.4%、「会社などの役員」5.4%となっている。女性は「正社員」が51.5%で最も高く、次いで「アルバイト・パート」30.0%、「契約社員・嘱託」6.6%となっている。



## (16) 就労先での職種(問 11-2)

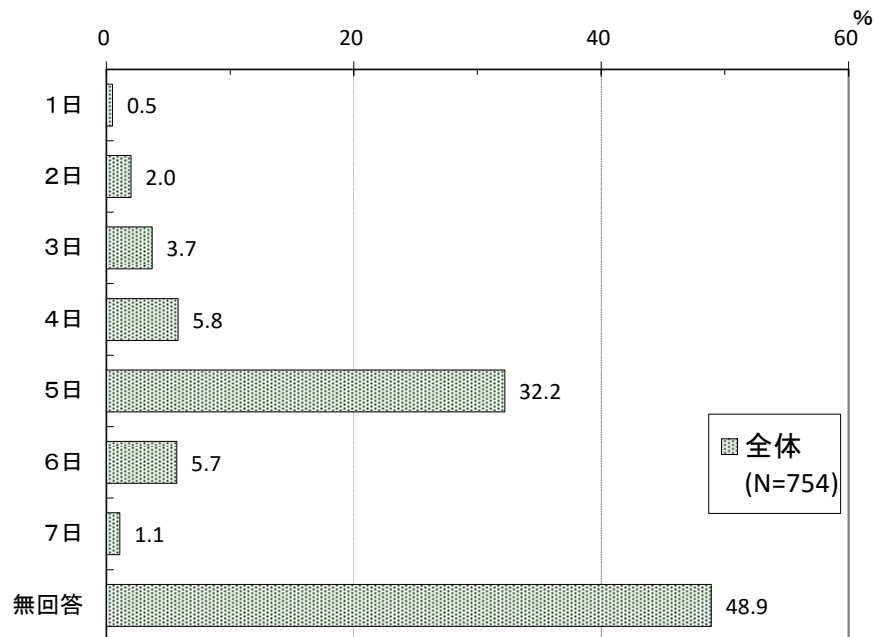
就労先での職種は、男性は「技能工(職人など)や工場などの現場作業」が 18.6%で最も高く、次いで「専門的・技術的な仕事(医師、教師、保育士など)」14.8%、「サービスの仕事(調理人、美容師、接客など)」6.3%となっている。

女性は「専門的・技術的な仕事(医師、教師、保育士など)」が 17.8%で最も高く、次いで「事務の仕事(一般事務員など)」13.5%、「サービスの仕事(調理人、美容師、接客など)」12.4%となっている。



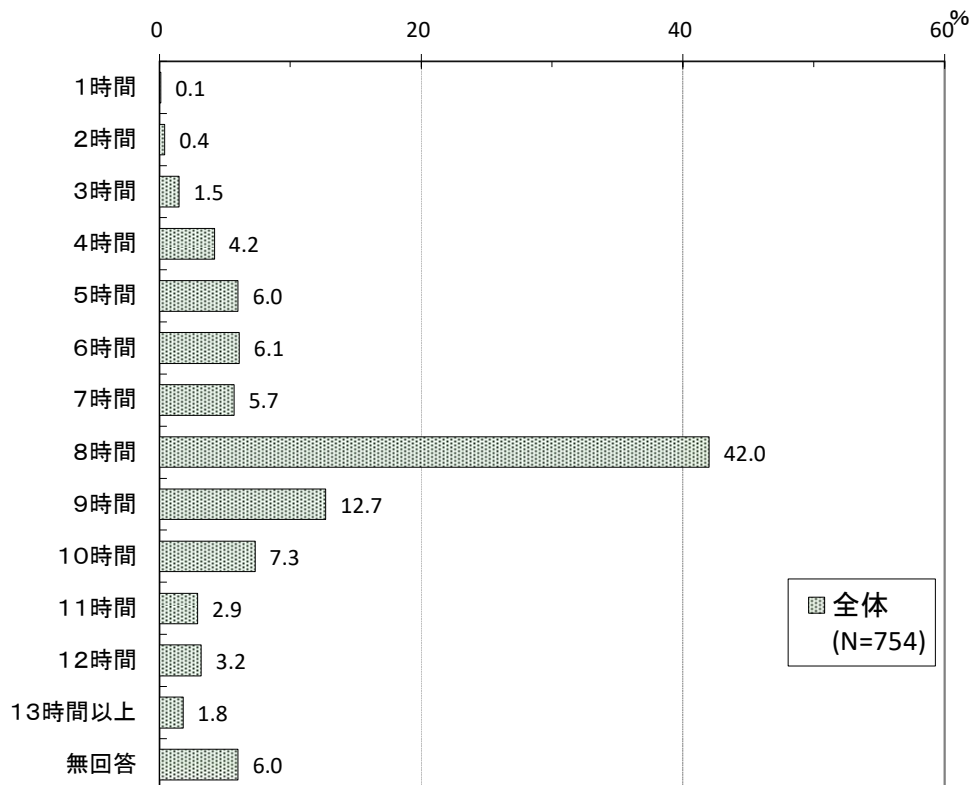
## (17) 1週間あたりの就労日数(問11-3)

1週間あたりの就労日数は、「5日」が32.2%で最も高く、次いで「4日」5.8%、「6日」5.7%となっている。



## (18) 1日当たりの就労時間(問11-4)

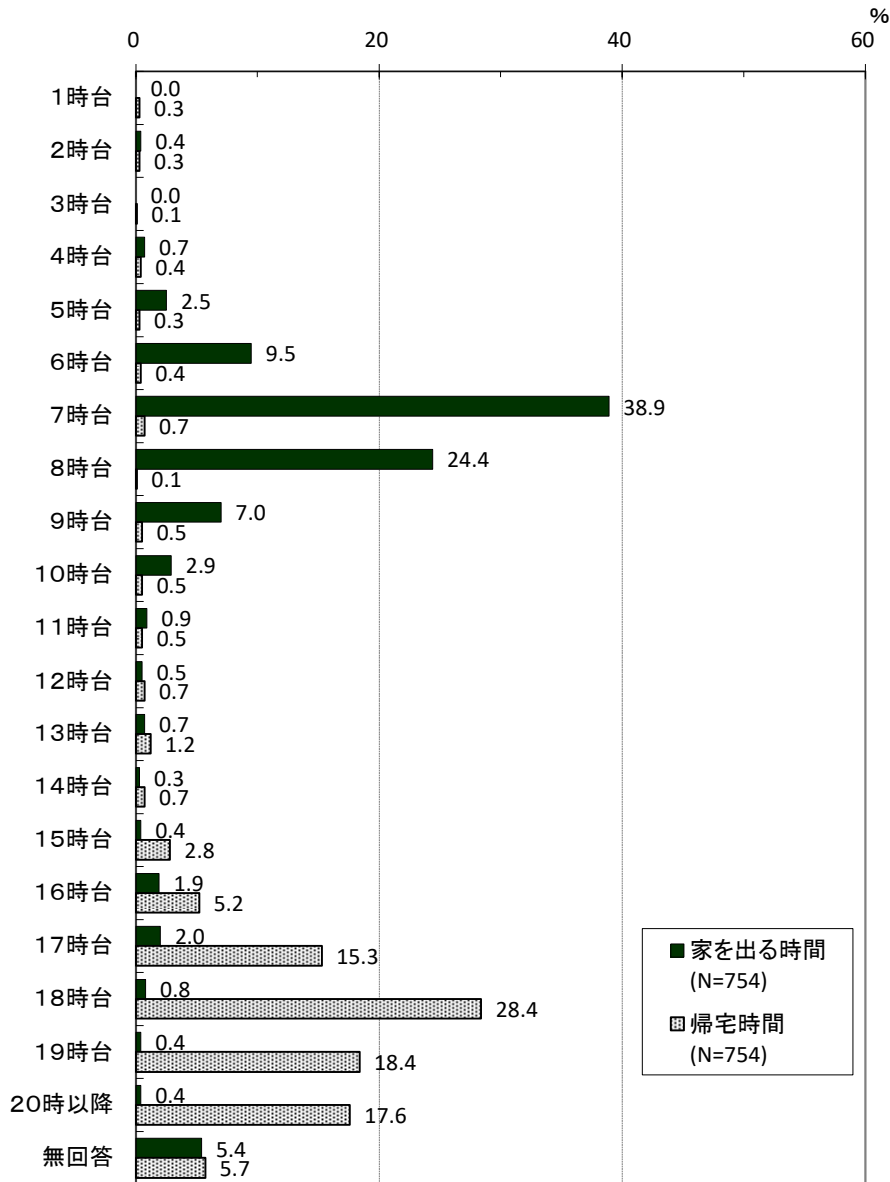
1日当たりの就労時間は、「8時間」が42.0%で最も高く、次いで「9時間」12.7%、「10時間」7.3%となっている。



(19) 家を出る時間と帰宅時間(問 11-4)

家を出る時間は、「7時台」が 38.9%で最も高く、次いで「8時台」24.4%、「6時台」9.5%となっている。

帰宅時間は、「18時台」が 28.4%で最も高く、次いで「19時台」18.4%、「20時以降」17.6%となっている。

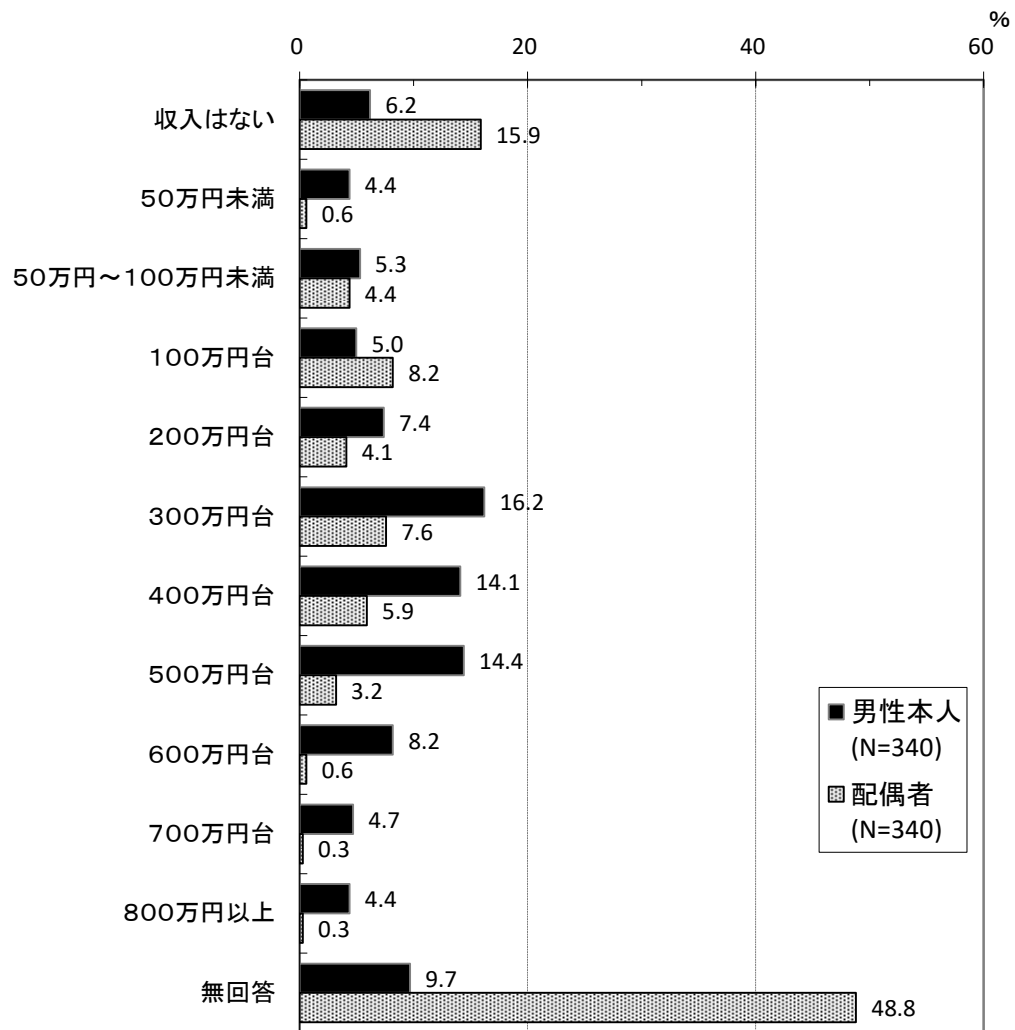


(20) 年収(問12)

① 男性

男性本人の年収は、「300万円台」が16.2%で最も高く、次いで「500万円台」14.4%、「400万円台」14.1%となっている。

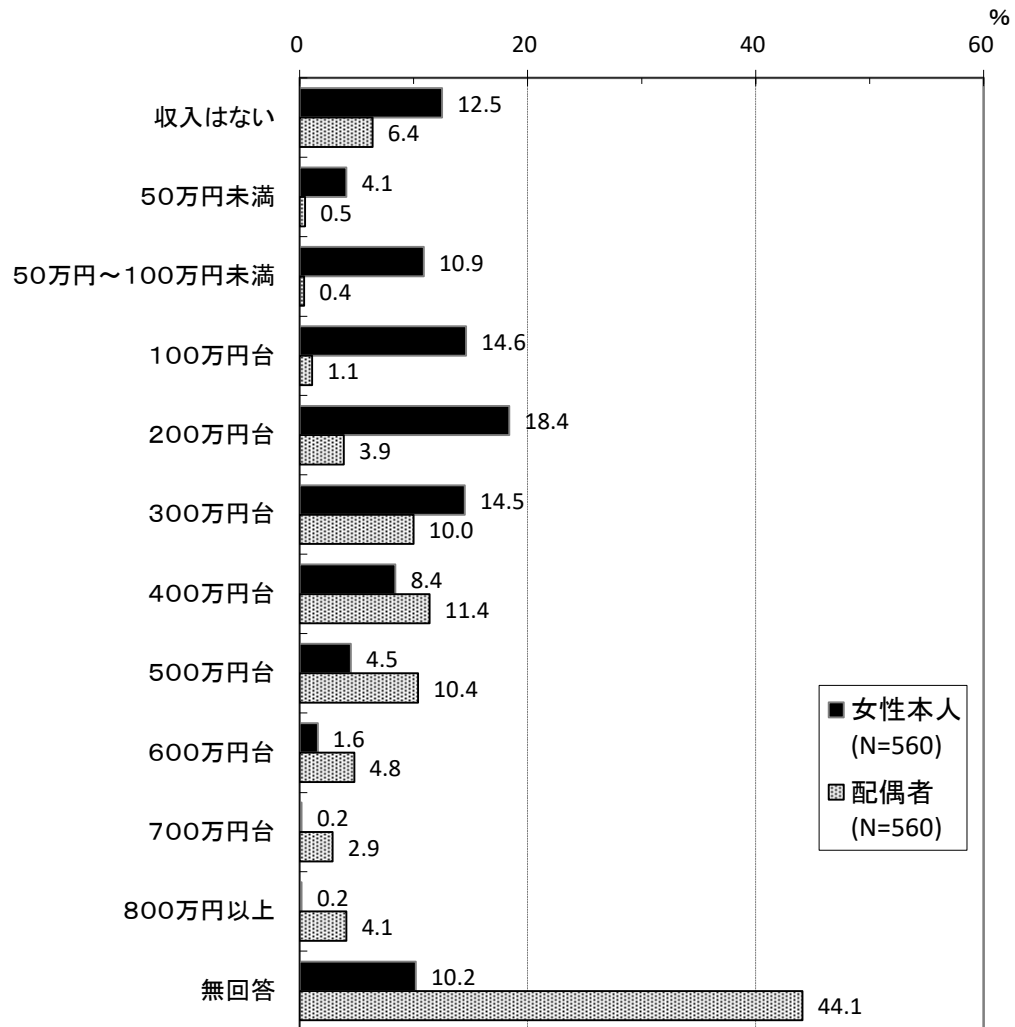
男性配偶者の年収は、無回答が48.8%、「収入はない」が15.9%で、「100万円台」8.2%、「300万円台」7.6%となっている。



② 女性

女性本人の年収は、「200万円台」が18.4%で最も高く、次いで「100万円台」14.6%、「300万円台」14.5%、「収入はない」が12.5%となっている。

女性配偶者の年収は、無回答が44.1%、「400万円台」が11.4%で、「500万円台」10.4%、「300万円台」10.0%となっている。

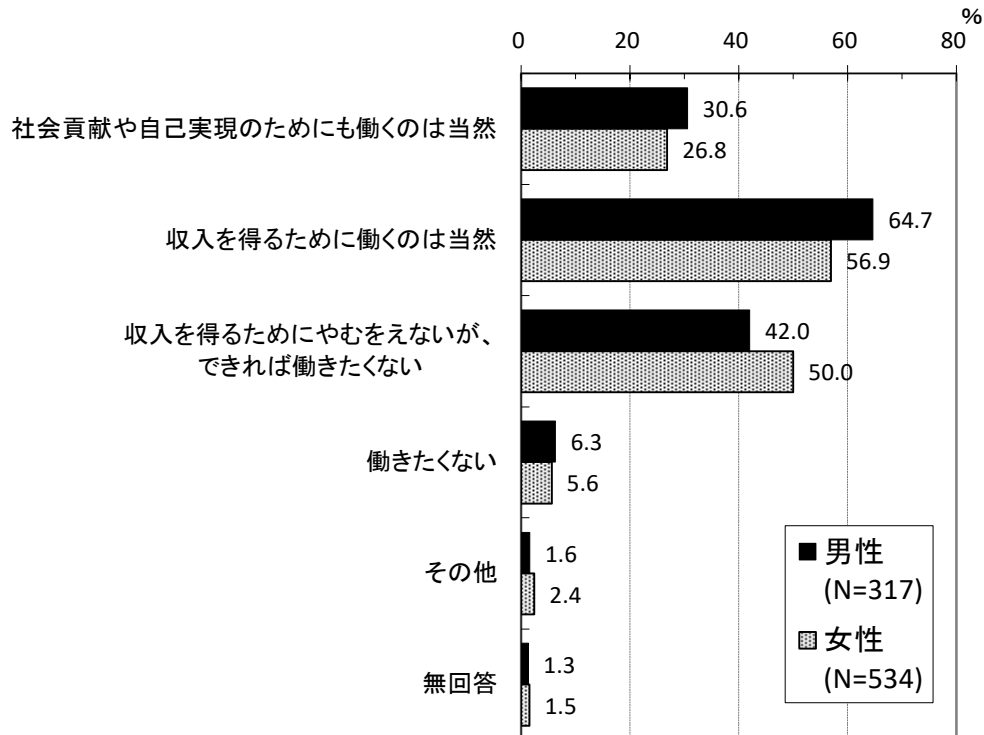




## (21) 就労に対する考え(問13)

働くことに対する考えは、男性は「収入を得るために働くのは当然」が64.7%で最も高く、次いで「収入を得るためにやむをえないが、できれば働きたくない」42.0%、「社会貢献や自己実現のためにも働くのは当然」30.6%となっている。

女性は「収入を得るために働くのは当然」が56.9%で最も高く、次いで「収入を得るためにやむをえないが、できれば働きたくない」50.0%、「社会貢献や自己実現のためにも働くのは当然」26.8%となっている。

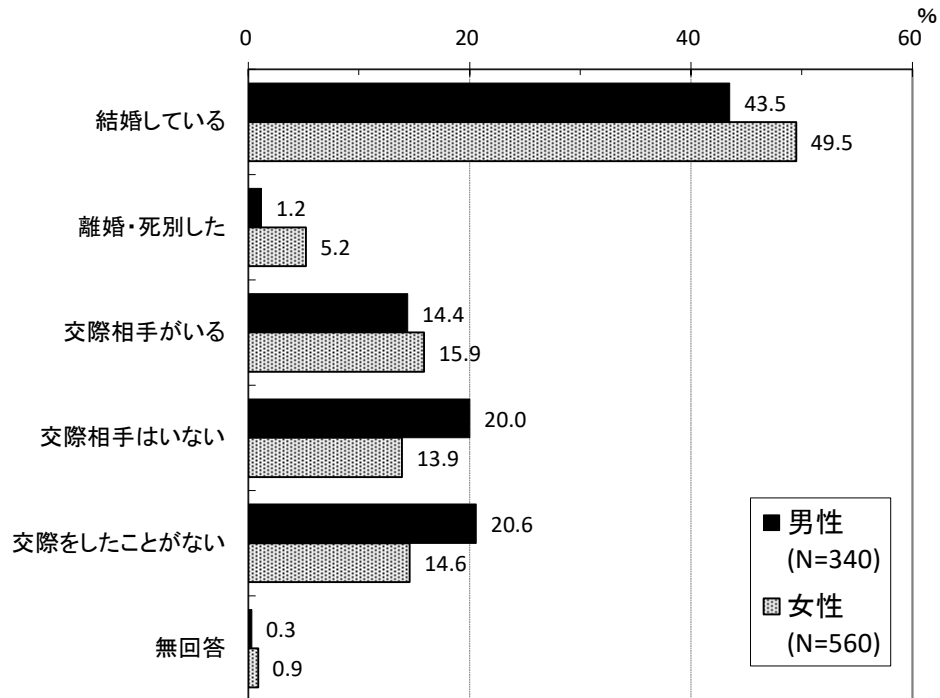


## 4. 結婚や家庭のことについて

## (22) 結婚の状況(問14)

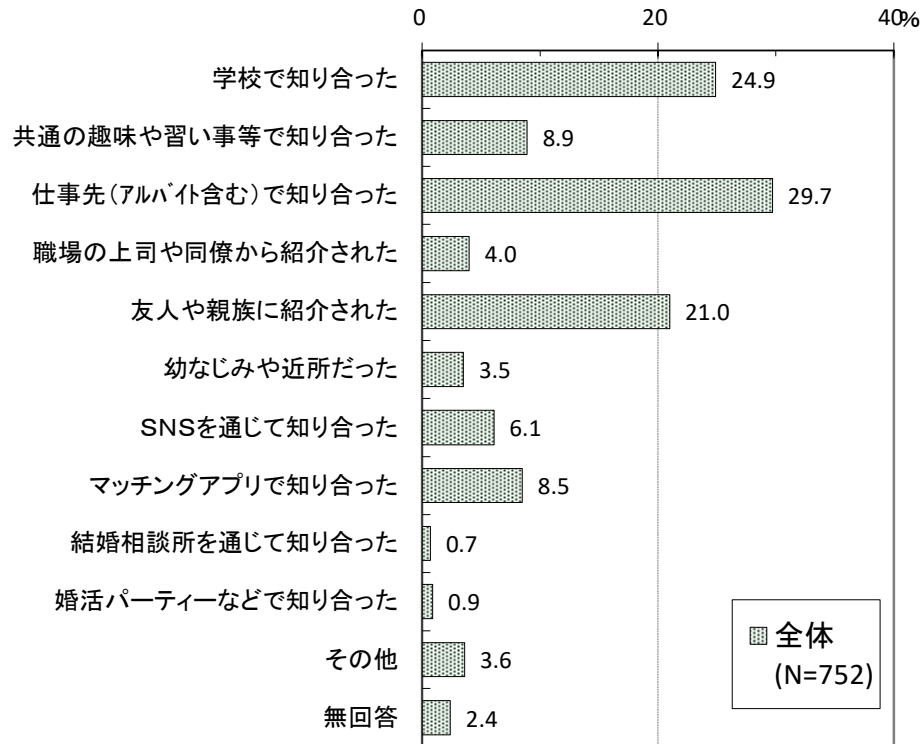
現在、結婚(事実婚も含む)しているかでは、男性は「結婚している」が43.5%で最も高く、次いで「交際をしたことがない」20.6%、「交際相手はいない」20.0%、「交際相手がいる」14.4%となっている。

女性は「結婚している」が49.5%で最も高く、次いで「交際相手がいる」15.9%、「交際をしたことがない」14.6%、「交際相手はいない」13.9%となっている。



## (23) 出会いのきっかけ(問14-1)【複数回答】

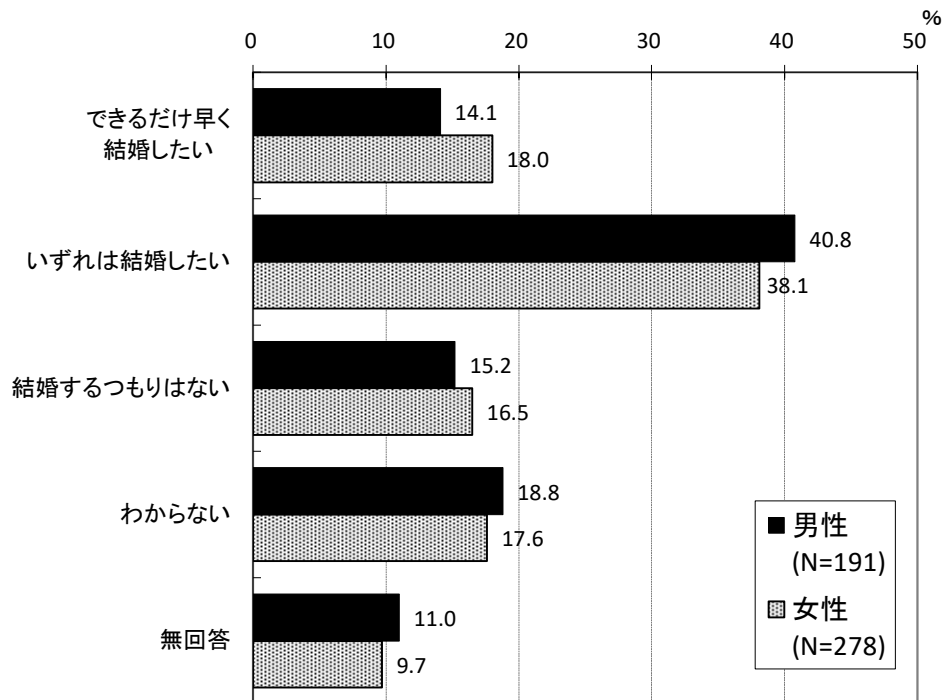
(22)で「交際相手はいない」、「交際したことがない」と回答した人以外に、交際のきっかけを尋ねたところ、「仕事先(アルバイト含む)で知り合った」が29.7%で最も高く、次いで「学校で知り合った」24.9%、「友人や親族に紹介された」21.0%となっている。



## (24) 結婚観(問 14-2)

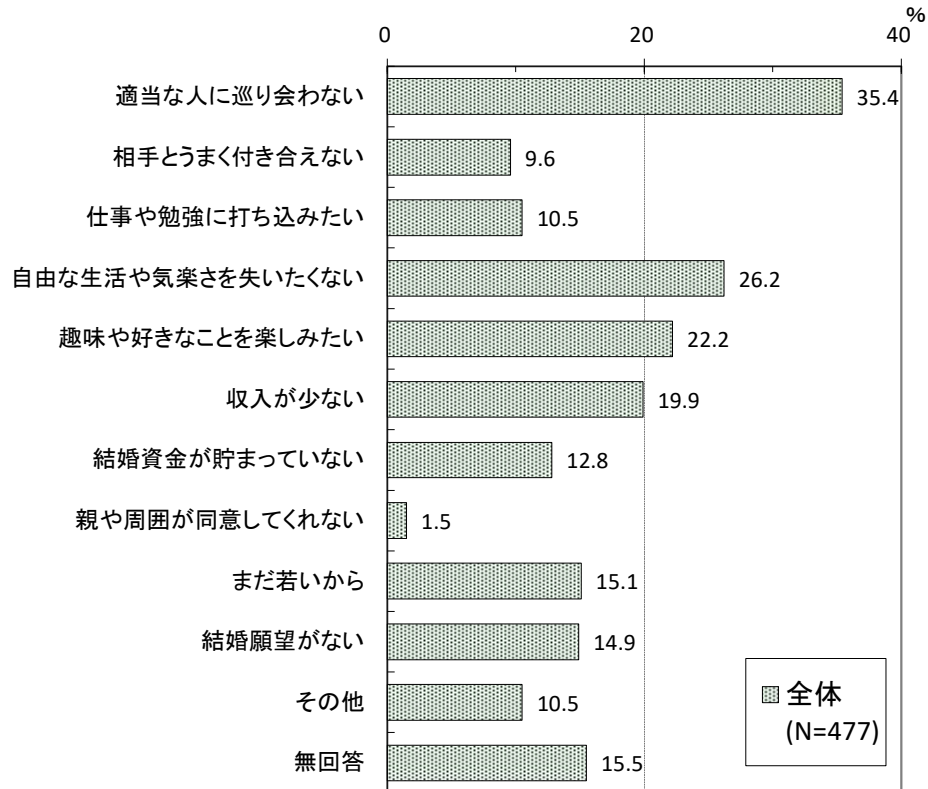
(22)で「結婚している」と回答した人以外に、結婚観を尋ねたところ、男性は「いずれは結婚したい」が40.8%で最も高く、「わからない」18.8%、「結婚するつもりはない」15.2%、「できるだけ早く結婚したい」14.1%となっている。

女性は「いずれは結婚したい」が38.1%で最も高く、「できるだけ早く結婚したい」18.0%、「わからない」17.6%、「結婚するつもりはない」16.5%となっている。



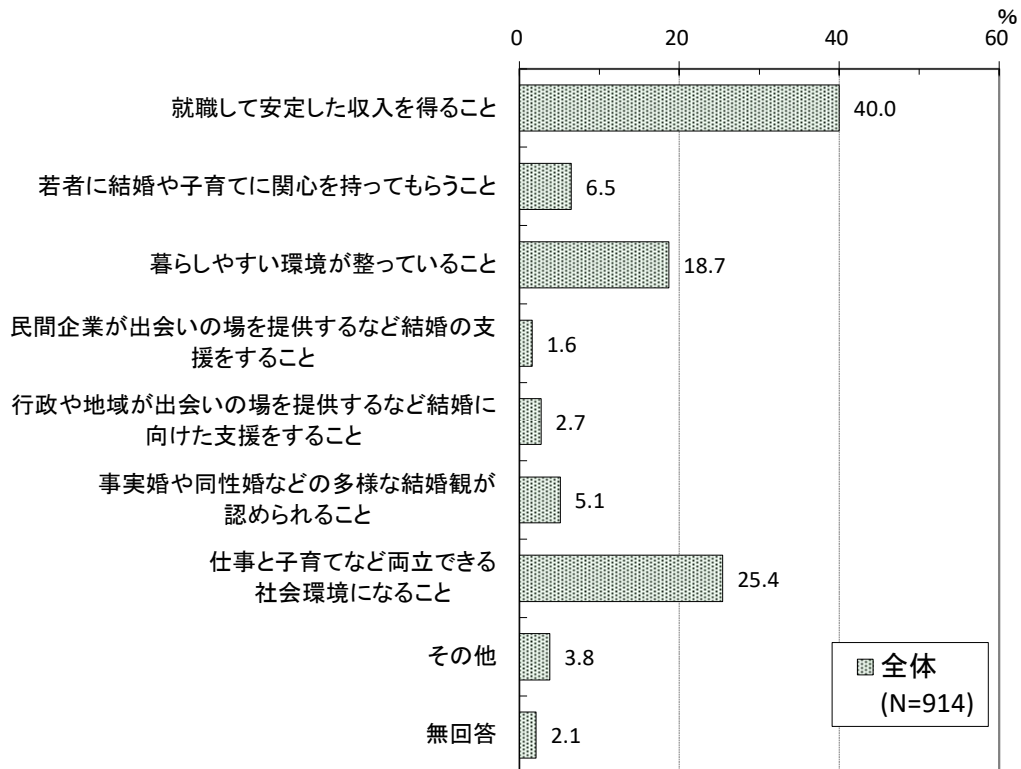
## (25) 結婚をしていない理由(問14-3)【複数回答】

(22)で「結婚している」と回答した人以外に、結婚をしていない理由について尋ねたところ、「適当な人に巡り会わない」が35.4%で最も高く、次いで「自由な生活や気楽さを失いたくない」26.2%、「趣味や好きなことを楽しみたい」22.2%となっている。



## (26) 結婚したい人が結婚するために必要なこと(問15)

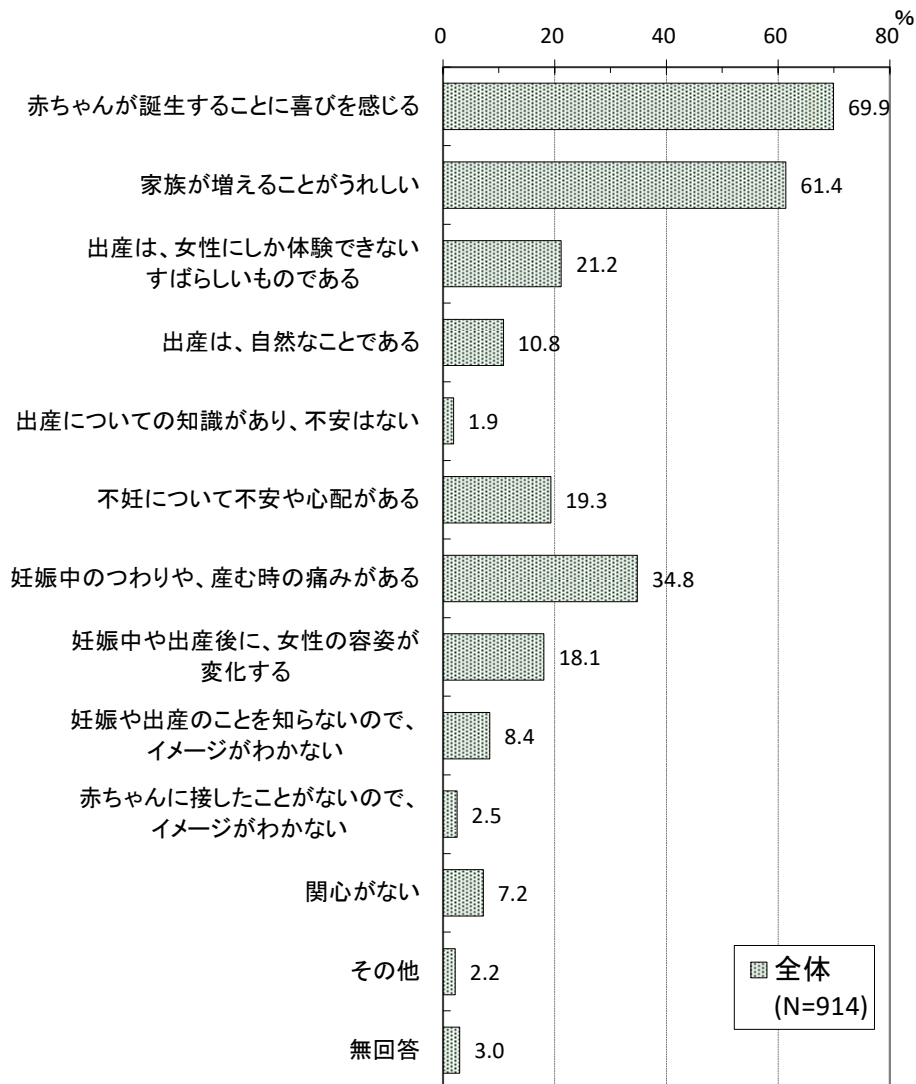
結婚したい人が結婚するために必要なことは、「就職して安定した収入を得ること」が40.0%で最も高く、次いで「仕事と子育てなど両立できる社会環境になること」25.4%、「暮らしやすい環境が整っていること」18.7%となっている。



## 5. 出産や子育てについて

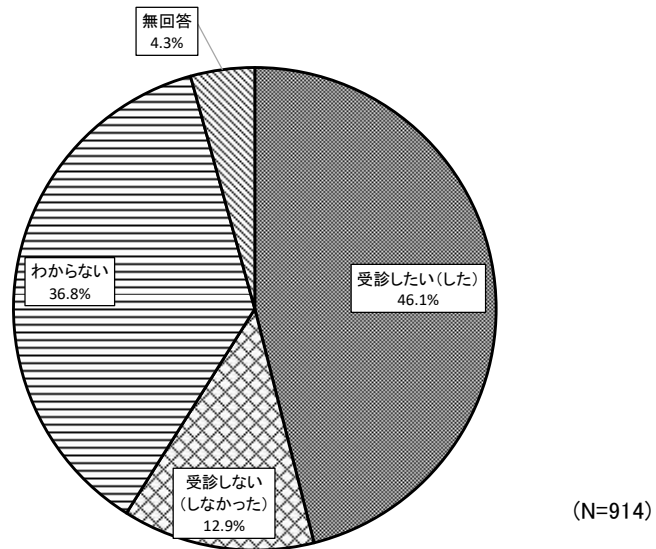
## (27) 出産に対する考え(問16)【複数回答】

出産に対する考えについて尋ねたところ、「赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる」が69.9%で最も高く、次いで「家族が増えることがうれしい」61.4%、「妊娠中のつわりや、産む時の痛みがある」34.8%となっている。



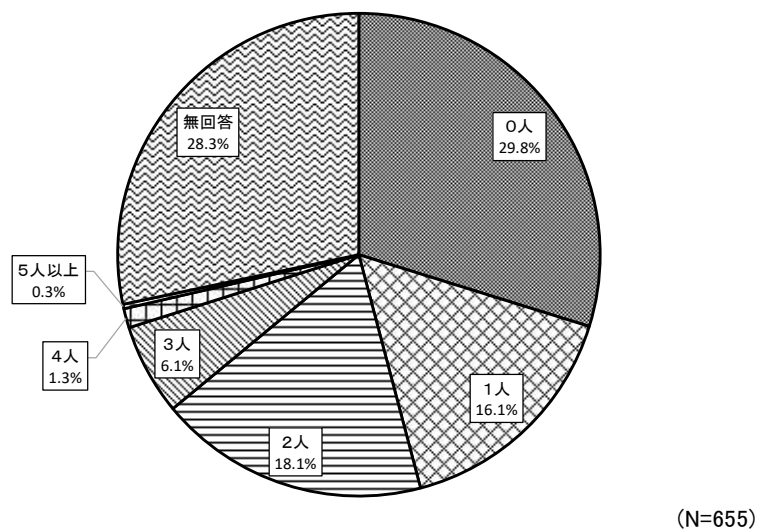
(28) 不妊治療のための医療機関受診について(問17)

子どもができにくい場合に、不妊治療のための医療機関を受診することについては、「受診したい(した)」が46.1、「わからない」が36.8%、「受診しない(しなかった)」12.9%となっている。



(29) 子どもの人数(問18)

子どもの人数は、「0人」が29.8%で最も高く、次いで「2人」18.1%、「1人」16.1%となっている。

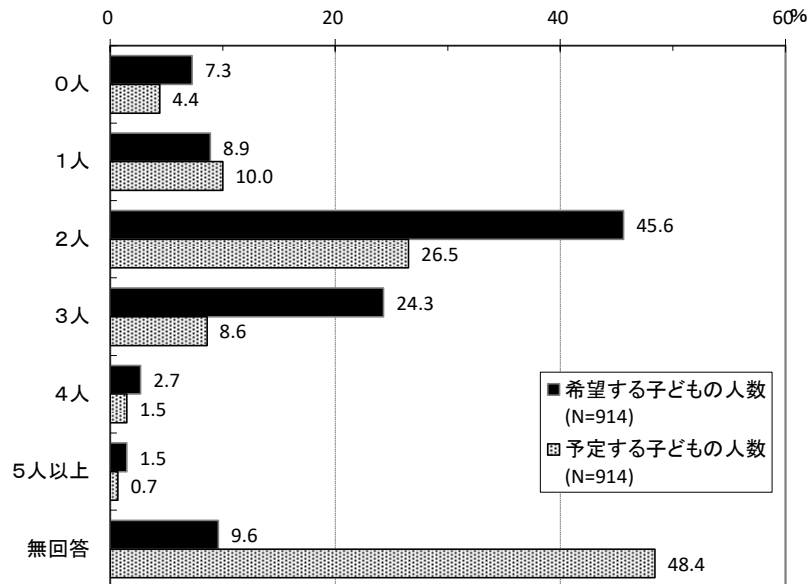




(30) 希望する子どもの人数と予定している子どもの数(問19)

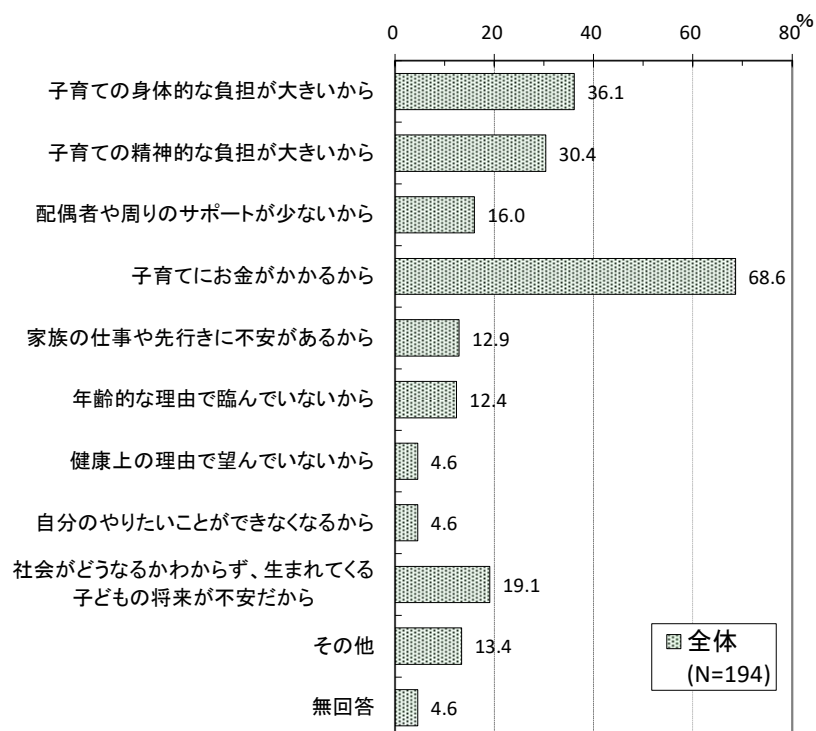
希望する子どもの数は、「2人」が45.6%で最も高く、次いで「3人」24.3%、「1人」8.9%となっている。

実際に予定している子どもの数は、「無回答」が48.4%を占める中、「2人」が26.5%、次いで「1人」10.0%、「3人」8.6%となっている。



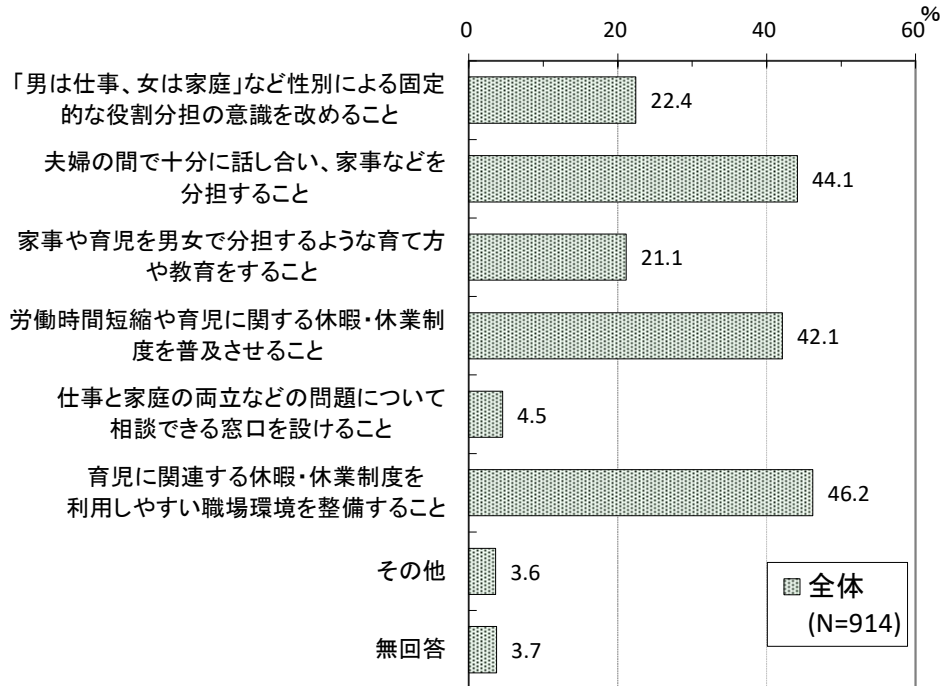
(31) 希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない理由(問19-1)【複数回答】

(30)で希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない人に、その理由を尋ねたところ、「子育てにお金がかかるから」が68.6%で最も高く、次いで「子育ての身体的な負担が大きいから」36.1%、「子育ての精神的な負担が大きいから」30.4%となっている。



## (32) 「共育て」の推進に必要なこと(問20)

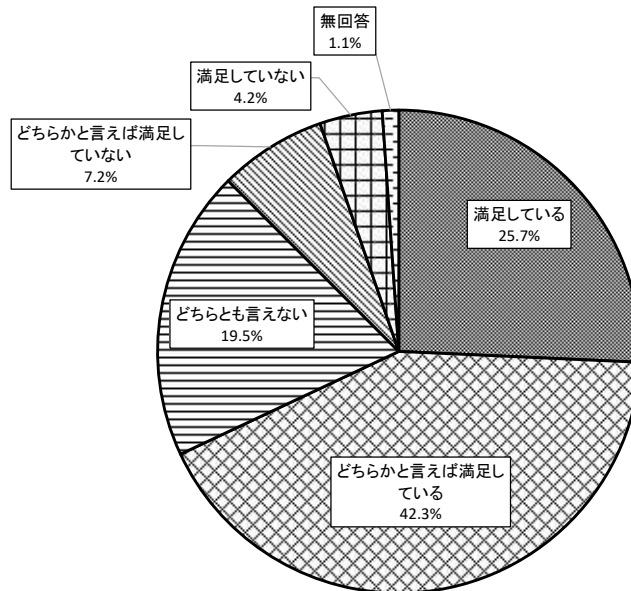
男女がともに子育てをしていく、いわゆる「共育て」の推進のために必要なことは、「育児に関連する休暇・休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること」が46.2%で最も高く、次いで「夫婦の間に十分に話し合い、家事などを分担すること」44.1%、「労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度を普及させること」42.1%となっている。



## 6. 生活への満足度

### (33) 生活満足度(問 21)

今の生活への満足度を尋ねたところ、「どちらかと言えば満足している」が 42.3%で最も高く、「満足している」25.7%を合わせた『満足』の割合は 68.0%となっている。



(N=914)